

	保健事業	目的	データヘルス計画課題	H28改善・拡充事項	対象者(H27実績)	保健事業内容	実施方法	実施者	実施時期	評価指標目標	担当
①	特定健診	生活習慣病の発症予防、重症化予防のため、住民自らが健康状態を知る。		・個別健診期間の延長 ・協会けんぽ被保険者の健診の支援強化 ・早朝尿による検査の徹底	国保加入者 40歳～74歳(2057名) 30歳～39歳(42名)	問診・計測・血液検査・検尿・血圧測定・診察 40歳以上の集団健診受診者:心電図・眼底検査 個別健診受診者:前年度の結果により心電図検査	集団健診:4か所の施設で実施、がん検診と同時実施 個別健診:みやこ・行橋医療機関45か所予定 個別健診実施期間を1ヶ月延長(5ヵ月間)	職員 集団:健診委託業者 個別:京都医師会	30歳代 H28年7月・10月の集団健診 40～74歳 H28年7月・10月(集団健診) H28年6月～10月(個別健診)	特定健診受診率 H28目標 55% 特定健診継続受診率 H28目標 79%	徳久
	特定健診未受診者対策事業	生活習慣病発症予防、重症化予防のため、できるだけ多くのかたに健診を受けてもらい、自らの健康づくりに活かす。	・特定健診受診率は39.5%で県内12位である。 ・特定健診中断率が20%以上である。 ・50～54歳代が他の年代に比べ受診率が低い。	【健診、治療の有無によって対策を変える】 ①H27年度未受診者に業者から、健診意向ハガキ送付し返信があった者に電話勧奨(新規) ②以外の者については ③過去に健診受診歴あり → 受診につながる可能性あり。積極的な電話勧奨 ④健診受診歴、治療歴ともなし → 実現つかめず。看護師による個別訪問 ⑤健診受診歴なし、治療歴あり → 医師会に積極的な勧奨を依頼。 ・体成分測定に加え、血管年齢測定器を追加。血管内皮障害、生活習慣病予防、改善の動機づけに使用する。	H27年度健診未受診者	委託業者によるハガキ、電話勧奨(新規)	委託業者から、H27年度未受診者に健診意向確認ハガキ送付。返信があった者や過去に健診受診歴のある者へ電話勧奨。	委託業者	4月上旬		
					30歳代 40～50歳代	訪問による勧奨	KDBにて健診、治療ともなしの者を抽出。健康状態が全くつかめないで、訪問時に血圧測定、血管年齢測定など実施しながら、健診勧奨する。	看護師	3月中旬～4月まで(7月集団) 5月～8月まで(10月集団、個別)		
					新規国保加入者	電話による勧奨	過去に健診受診歴のある者。土日、昼食時間帯を中心に、電話にて健診勧奨する。	職員 看護師			
					継続受診者	国保加入手続き時に特定健診・がん検診の勧奨(新規)	窓口にて健診チラシを用いて勧奨する。希望により、血管年齢、体成分測定を実施し、受診の動機づけを行う。	職員	通年 早急に新規者へのチラシ作成		
					その他	電話・訪問	7月の集団健診に申込みがなかった者に対し、個別健診や10月の集団健診を勧奨する	職員 看護師	6月～10月		
					医師会への協力依頼	医師会への健診説明会及び、生活習慣病重症化予防会議(保健所開催)などの機会に、治療中のかたへの積極的な受診勧奨を依頼する。	職員	5月予定			
					体成分測定・血管年齢測定による健診の動機づけ	体成分:出張講座・新規国保加入者に実施 血管年齢:出張講座・訪問で実施 健診受診、生活習慣改善の動機づけのツールとして利用	職員	3月中旬～10月			
					健康づくり協力員による口コミ、勧奨	協力員にチラシ配布依頼	健康づくり協力員	4月～8月			
	各種団体への健診受診勧奨	出張講座で関わりをもった区長等に積極的に働きかける。	職員	4月							
②	特定健診後の保健指導	生活習慣病の発症、重症化予防のため、医療機関への受診勧奨や保健指導により、検査値の改善を図る。 ・メタボリックシンドローム該当17%、予備群15%を占める ・虚血性心疾患千人当たり外来患者件数 県内1位 ・脳血管疾患は長期入院の14%以上を占める。治療だけでなくリハビリを要するため、入院が長期になる。 ・要介護者の有病状況のうち、64%が虚血性心疾患を持つ ・死因の30%以上は心臓病である。 ・64歳以下の死因はがん、心臓病、脳血管疾患があげられ、特に男性の死亡数が多い。 ・健診結果で重症化予防対象者が約30%を占める ・収縮期血圧、LDLコレステロール、HbA1cの有所見割合は約40～50%である ・国保加入者のうち糖尿病性腎症が約30%である	特に積極的の者に対しては、体成分測定にて内臓脂肪面積、血管年齢測定を前後で測定し、生活改善の動機づけとする。 手紙、メールでの指導も取り入れる。 ・高血糖、高血圧のかたについては、治療状況が把握できるようフォロー者一覧表を作成し、もれなく、受診勧奨、治療中断者を把握する。 ・自分の食べ癖に気づくための食事チェック表作成 ・食事管理ソフトの利用	集団健診受診者全員(1320名)	健診結果に基づき、生活習慣病予防に関する正しい知識や健康情報を個別に指導。	健診後の結果説明会、訪問等にて実施。	保健師 管理栄養士 看護師	8、9、12月に計34回	全員		
				個別健診受診者全員(737名)	医師から健診結果を個別に説明、指導。	健診後約1ヶ月後、健診結果について医療機関にて説明。要医療者は治療開始。	健診実施医療機関	8月～12月			
				特定保健指導対象者	動機付け支援(178名)	特定健診結果に基づき、現在の身体の状態を説明し、メタボと生活習慣病との関連を知ってもらい、減量、食事、運動、禁煙等についての指導を行う。	初回面接及び半年後の評価を行う。	保健師 管理栄養士	特定保健指導実施率 H28目標 89%		
				積極的支援(52名)	家庭血圧測定、記録の勧め。血圧計補助の説明。体重測定の習慣化。 対象者については行動目標の設定や支援計画など、行動計画を作成する。	初回面接から半年間の継続支援の中で、面接、電話、手紙のやりとりを行う。 ポイント制に基づき、支援Aのみで180ポイント以上、もしくは支援A(160以上)と支援Bで180ポイント以上の支援を行う。					
				重症化予防対象者	LDL180以上 HDL34以下 TG300以上 (150名)	からだノート「脂質異常症」に基づき、動脈硬化との関係、予防(食事、運動)について伝える。 みやこ町のオリジナルファイル使用	①あなみツールで対象者抽出。一覧表作成 ②面接、訪問、電話などで受診勧奨 ③医師会との連絡、報告書やりとり ④未受診者については、再度受診勧奨 ⑤最終的にはレセプトで確認	看護師	8月末～翌8月		
					血糖値126以上 HbA1c6.5以上 (242名)	からだノート「糖尿病」に基づき、血糖が高いことによる糖毒性、合併症について、予防(食事、運動)について伝える。 食物繊維を積極的に摂ってもらう動機づけに、野菜の種を配布。 糖尿病専門医の紹介。	集団健診:初回は結果説明会 フォローは訪問か電話 個別健診:初回、フォローともに訪問か電話			HbA1c6.9まで 保健師 HbA1c7.0以上 管理栄養士	
					高血圧II度以上 (160/100以上) (164名)	からだノート「高血圧」に基づき、なぜ血圧が高いと悪いのか、血圧に弱いのが心、脳、腎であること、予防方法(減塩、減量、運動、アルコール、睡眠不足等)について伝える。 自宅血圧測定、記録の勧め	食生活に関連する高血糖、脂質異常、肥満(腹囲が基準値以上)の者⇒結果説明会や訪問時に、食事管理ソフトや食事チェック表、血管年齢測定、体成分測定などを実施 測定結果(年齢・筋肉量・内臓脂肪量)や食の偏りを見て、住民自身が生活改善の必要性について気づいてもらうよう促す			保健師 看護師	血圧180/110以上の未治療者の減少

	保健事業	目的	データヘルス計画課題	H28改善・拡充事項	対象者(H27実績)	保健事業内容	実施方法	実施者	実施時期	評価指標目標	担当	
②	保健指導			CKD重症度分類にて、糖尿病性腎症の予防に努める。	重 対 象 化 予 防	・eGFR50未満 ・尿蛋白2+以上 ・蛋白、潜血ともに1+以上 (125名)	からだノート「CKD」に基づき、腎機能低下の意味、尿蛋白が意味、人工透析等について説明する。腎専門医の紹介。	CKD重症度分類により、G3aまでは保健師、G3b以降は管理栄養士と役割をわけて指導する。 特定健診結果に基づき、治療の状況を確認し、未治療者には受診勧奨を行う。	8月末～翌8月	未治療者の減少	田中	
						尿酸8.0以上 (56名)	からだノート「尿酸」に基づき、高尿酸の意味、身体への影響について伝える。	特定健診結果に基づき、治療の状況を確認し、未治療者には受診勧奨を行う。				
						心電図所見で心房細動ありの者 (24名)	心房細動の状態、重篤な脳梗塞のリスクが高いこと、内服をすれば予防できることを伝える。未治療の者へ早期の受診勧奨。	特定健診結果に基づき、治療の状況を確認し、未治療者には受診勧奨を行う。				
						治療中断者	疾病管理台帳に基づき、治療中断者を把握し、治療再開、健診受診を勧奨する。	疾病管理台帳(Ⅲ度高血圧者、HbA1c7以上)作成。当年度の健診状況、レセプトを確認し、治療していない者には、電話、訪問で受診勧奨を実施。				
③	食生活	男性自らが、健康づくりを意識し、適切な食を選ぶ力や、料理の基本を身につけ、健康維持できる。	・20歳時体重から10kg以上増加が35%以上 ・週3回以上間食する者の割合が12%を占める ・毎日飲酒が26%以上	・食事管理ソフトの利用 ・体成分測定を教室前後で測定し評価につなげる ・塩分感受性検査、適塩みそ汁の試飲	町内在住、在勤の男性、食や料理に興味のある者	調理の基本、生活習慣病の講義 調理実習	全7回コース 定員15名程度	管理栄養士 看護師	5月～6月	講座参加人数 内臓脂肪面積の変化	大久保	
		正しい食の知識と技術を学び、自らが健康づくりの実践者、ボランティアとなる人材を養成する。		・食事管理ソフトの利用 ・体成分測定を教室前後で測定し評価につなげる ・塩分感受性検査、適塩みそ汁の試飲	町内在住者	食生活改善推進員養成カリキュラムに基づき、食、運動、衛生面、生活習慣病などの講話、実技	10回コース 予め募集を行い、受講状況に応じて修了証書授与。その後は食連会に入会。	管理栄養士 看護師	10月～2月	・講座参加人数 食連会移行率 ・内臓脂肪面積の変化	大久保	
		地域に出向き、生活習慣病予防のため、正しい食生活の普及、推進を図る。		・週3回以上間食する者の割合が12%を占める ・毎日飲酒が26%以上	・適塩みそ汁の試飲、普及 ・バランス食やおやつ取り方の普及強化	食連会会員	生活習慣病のテーマに基づいた講話と調理実習	年6回 各支部を順に回りながら中央研修会を実施	職員	通年	参加人数	大久保
		地域に出向き、生活習慣病予防のため、正しい食生活の普及、推進を図る。		・適塩みそ汁の試飲、普及 ・バランス食やおやつ取り方の普及強化	町民全員	・県からの委託事業 ・小中学生への食育 ・手作りおやつ普及(カルシウム補給やアレルギー除去) ・バランスのとれた弁当やおやつ配布	・地域での調理実習や講義、資料配布 ・小中学生に、薄味を基本にした地産地消の調理実習 ・1歳半、3歳児健診時におやつとレシピの作成、配布 ・地域や介護施設へのバランスのとれた食事や減塩指導、料理の提供、対象者に合わせたおやつ配布	職員	通年	活動回数	大久保	
④	運動教室	肥満や生活習慣病、寝たきり予防などに効果があるインターバルトレーニングを普及する。	・1日30分以上、1日1時間以上運動なしの者が50%を超えている	インターバルトレーニングの普及啓発	町民全員	・効果的な歩き方(インターバルトレーニング)の指導 ・日常生活内のできる運動の紹介	・年に数回 運動指導士などの専門家によるインターバルトレーニング教室の実施(町のイベント時に同時開催すること検討) ・出張講座などでの講座 ・健康づくり協力員による体操の普及	職員	通年	参加人数	尾家	
⑤	がん検診	がんを早期発見し、早期治療を促す。	・医療費が高額になる疾患の30.2%ががんである ・みやこ町全体の死因の第1位はがん(43.9%)であり、64歳以下も死因はがんである。	・協会けんぽ加入の町内企業に、がん検診特定健診の受診勧奨を実施。 ・乳幼児健診で来場の母親に積極的に勧奨チラシ配布。 ・協会けんぽの特定健診と同時実施日を1日増	項目により年齢・性別の対象あり(のべ7170名)	【共通】胃・肺・大腸・肝炎(40歳以上) 【男性】前立腺(50歳以上) 【女性】子宮(20歳以上)・乳(30歳以上)	集団での協会けんぽの特定健診とがん検診の同時実施日を2日間設ける(1日増) 集団健診:4か所の施設で特定健診と同時実施 個別健診:子宮、乳のクーポン券該当者は指定医療機関で受診 要精密者には受診勧奨	職員 集団:検診業者 個別:県指定医療機関	7月・10月	がん検診受診率 精密検査後のがん発見率	尾家	
⑥	出張講座	住民への生活習慣病の知識の啓発、運動や食事など生活改善の動機づけ、地域とのつながりを強化する。		・検査機器「血管年齢測定」追加。生活習慣病予防、改善の動機づけに使用 ・生きがいデイやふれあいいきいきサロンなどへも出張。心房細動予防、早期発見の方法を伝える	町民全員 (のべ678名)	【講話】 生活習慣病(高血圧・糖尿病・動脈硬化など)、骨粗鬆症、肺炎、筋力低下、心房細動などの予防啓発 【測定】 体成分測定、骨密度測定、血圧測定 血管年齢測定	駐在員会議等で出張講座についてPR。 希望の地区に対し、地域の公民館などで講話等実施	保健師 管理栄養士 看護師 事務 社協 介護福祉課職員	通年	特定健診受診率 医療費	尾家	
⑦	健康づくり協力員学習会	日本一元気な町を目指し、地域で健康づくりに関する活動を広げる協力員の育成、協働活動を展開する。		・活動内容の充実(学習会、会員ウォーキング大会開催など)	町内在住者、健康づくりに興味がある者 (11名程度)	・健康イベントや学習会を企画、開催。 ・特定健診がん検診のPR ・健康に関する情報の共有、学習会 ・ウォーキング大会実施	年に7～8回開催のなかで、健康イベントの企画、準備、当日の役割分担、町の健康課題について情報交換等実施。	事務 保健師 管理栄養士	通年	協力員の増員 活動内容の拡充	木村	
⑧	健康のつどい	健康に興味を持ち、住民自らが運動や食事の改善をするきっかけをつくる。		・特定健診のPR ・展示物(茶葉、砂糖)の説明などソフト面の充実 ・健康相談実施	町内外の住民 (のべ1113名)	【健康測定】 骨密度測定・体成分測定・ロコモ度チェック、血管年齢測定など 【おくすり相談】 【健康体操】 【健康展示】	・産業祭の会場で同時実施。 ・場所は犀川保健相談センター、犀川体育館 ・測定や相談に関しては、関係機関に依頼。スタンプラリーにし、各コーナーを体験できるよう工夫。	事務 看護師 管理栄養士 保健師 健康づくり協力員 関係機関	11月産業祭と同時実施	参加者数 特定健診、がん検診受診率	長野	

保健事業(健康づくり課)

資料57

	保健事業	目的	データヘルス計画課題	H28改善・拡充事項	対象者(H27実績)	保健事業内容	実施方法	実施者	実施時期	評価指標目標	担当
⑨	母子健康手帳、妊婦健康診査補助券の交付	母子の一貫した健康を管理する。	・低出生体重児率が、6～15%で変動している。	・母子健康手帳交付時の保健指導の強化 ・妊婦健診後の指導強化	町内在住の妊婦(120名程度)	妊娠中から出産、乳幼児の健康管理のため一貫した手帳の交付。同時に、低出生体重児予防のため、注意すべき妊婦健診項目、体重管理、食事内容等について、知識の普及、啓発を実施。	母子健康手帳交付時にオリジナルの資料を利用し、禁煙、体重のコントロールの必要性などを説明する。体重曲線の記録のすすめ。	保健師 管理栄養士	通年	低出生体重児出生率 保健指導率	源田
⑩	赤ちゃん訪問	子どもの健全な発育を目指し、母親が不安なく子育てができるよう支援する。	・高カロリー・高脂肪のおやつを摂っている児が多数を占めている。 ・起床時間、就寝時間が遅い児が多い。	・子どもの成長発達と食生活、生活リズムの支援を強化	乳児及び保護者(120名程度)	妊娠～分娩の状況及び退院後の母子の状態を把握するとともに、身体測定後の栄養指導、生活リズムや乳幼児健診、予防接種の進め方等について説明する。	随時 生後1か月前後の児及び母親を対象に訪問 【測定】体重、頭囲 【配布資料】子ども健康カレンダー・予防接種簿・離乳食・ベビーマッサージについてなど資料	保健師 助産師	通年	訪問実施率	源田
	乳幼児健診	・児の健やかな成長、発達の確認。 ・母親へ育児に関する知識の普及。 ・育児相談する場の提供。			2-3か月 4か月 7か月 12か月 1歳半 3歳児と保護者	問診、計測、診察(内科、歯科)、発達チェック、栄養相談、歯科相談などを通じ、母子に応じた育児に関する指導、相談	集団による乳幼児健診・相談実施。 離乳食の進め方、おやつの選び方、食と生活習慣病との関係、生活リズムについて指導。 母親の健康管理としては12か月相談時に、保健師による血圧、検尿等健康チェック、生活習慣病予防の指導を実施。	医師 歯科医師 保健師 管理栄養士 看護師 理学療法士 歯科衛生士 助産師 事務	通年	・乳幼児健診受診率 ・おやつや生活リズムのアンケート結果	源田
	離乳食教室	児の健やかな成長、発達には食事、適切な栄養がかかせない。離乳の進め方に限らず、食の基本を保護者に伝える。			対象者の明確化・子ども健康カレンダーに生年月日を記載し、積極的に勧奨	乳児の保護者	月齢に応じた離乳食の進め方、望ましい食材や簡単な調理方法、だしの取り方などを説明する	対象者は妊婦～生後12か月未満の子どもを持つ保護者、家族 前半は食の大切さについての講義、後半は離乳食の実演	管理栄養士	通年	参加人数
⑪	健康情報の提供	健康づくりのための情報や町の健康課題を広く町民に周知する。		健康づくりに関する情報を、広く住民に知ってもらうため、ターゲットを絞って、わかりやすく効果的な広報、啓発を実施。 運動を継続したい者に紹介できる町内外実施の教室の一覧表作成	町民全員	【広報紙の活用】 ・みやこ町国保の医療の現状や健康課題 ・高血圧や糖尿病予防 ・バランスのとれた食事 ・アルコール摂取について ・インターバルトレーニングの紹介 ・良質な睡眠のとおり方、ストレス解消 ・COPD(慢性閉塞性肺疾患) ・健診の受診勧奨	広報紙を利用し、町の健康課題や生活習慣病予防、健康づくりのための情報を計画的に掲載。	職員	通年	-	徳久
					町民全員	【防災無線】 ・特定健診、がん検診の勧奨	集団、個別健診について、計画的に勧奨	職員	4月～10月	-	長野
					食事の準備が困難な者	【社会資源】 町や民間の配食サービスなど社会資源の紹介	保健指導時や駐在員などの情報から、対象者を把握。 食事チェック表を利用し、バランスのとれた食事指導	管理栄養士	通年	-	大久保
					運動希望者	【運動一覧】 町内外の運動教室一覧作成、配布	・町内外の運動教室一覧の情報収集	健康づくり課 事務 生涯学習課 職員	4月～情報収集 6月までに作成	-	田中

